



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

東

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所
 コード番号 3964 URL <http://www.aucnet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤崎 慎一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 谷口 博樹 (TEL) 03(6440)2552
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	40,443	25.4	5,610	3.4	5,700	3.3	3,594	2.3
2023年12月期第3四半期	32,242	5.8	5,423	1.9	5,521	△0.5	3,512	1.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 3,789百万円(1.4%) 2023年12月期第3四半期 3,738百万円(3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	151.19	150.74
2023年12月期第3四半期	139.05	138.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	44,437	25,115	56.0
2023年12月期	37,664	22,310	58.8

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 24,881百万円 2023年12月期 22,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	24.00	—	29.00	53.00
2024年12月期	—	28.00	—		
2024年12月期(予想)				29.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	58,000	33.9	7,000	5.1	7,090	5.0	4,508	3.2	189.76	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) 株式会社デファクトスタンダード、JOYLAB株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	24,763,200株	2023年12月期	24,763,200株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	877,333株	2023年12月期	1,107,316株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	23,775,205株	2023年12月期3Q	25,258,678株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 5の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当社グループは、「価値あるモノを、地球規模で循環させる～Circulation Engine.」をサステナビリティポリシーと掲げ、循環型マーケットの構築に取り組んでいます。市場に出た価値あるモノを停滞させることなく循環させる仕組みづくりに寄与し、持続可能な社会に貢献する企業として、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

2022年5月に策定した、中期経営計画「Blue Print 2025」では、当社独自の指標である「Gross Circulation Value/総循環型流通価値」を始め、EBITDA、ROE、配当性向の4つを重要経営指標としました。「Blue Print 2025」をもとに、既存事業のシェア拡大やパートナーとの提携及び新規事業の創出を推進し、さらなる会員制ネットワークの拡大や流通形態の多様化を目指してまいります。

このような計画に基づき、事業を推進した結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は40,443,269千円(前年同期比25.4%増)、営業利益は5,610,485千円(前年同期比3.4%増)、経常利益は5,700,775千円(前年同期比3.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,594,503千円(前年同期比2.3%増)となりました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	40,443,269千円	+25.4%
営業利益	5,610,485千円	+3.4%
経常利益	5,700,775千円	+3.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,594,503千円	+2.3%

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、2024年12月期第1四半期連結会計期間の期首より、当社の事業戦略に適したポートフォリオに組み替えることを目的としてセグメントを変更しています。従来の「デジタルプロダクツ事業」及び「ファッションリセール事業(旧コンシューマープロダクツ事業)」を統合し「ライフスタイルプロダクツセグメント」としました。また、従来の「オートモビル事業」及び「その他」に含まれていた「モーターサイクル事業」を統合し「モビリティ&エネルギーセグメント」としました。

また、従来セグメント共通費用は調整額に計上しておりましたが、2024年12月期第1四半期連結会計期間の期首からの報告セグメント変更を契機として、各報告セグメントの事業運営に貢献するコストについては、一定の合理的な基準で配賦することとした方がより効果的な業績評価が可能になると判断し、当該共通費用を各報告セグメントに配賦する方法に変更しております。

以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

(ライフスタイルプロダクツセグメント)

当セグメントは、デジタルプロダクツ事業及びファッションリセール事業で構成されています。

①デジタルプロダクツ事業

デジタルプロダクツ事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスを展開しています。

国内サプライヤーとの取引拡大や連携強化に伴い、流通台数が増加しました。加えて、新オークションシステムの定着により会員の利便性が向上、円安の影響も相まって端末一台当たりの平均成約価格が上昇した結果、取扱高が増加しました。

また、海外拠点の機能拡充により、主に海外会員を中心に会員数が増加しました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高 (百万円)	37,482	+16.0%
流通台数 (台)	1,277,837	+5.3%
会員数 (会員)	2,005	+19.8%

②ファッションリセール事業

ファッションリセール事業は、バッグ、時計、貴金属、衣類等の主にブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスを展開しています。なお、第2四半期連結会計期間の期首より、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社を連結対象としており、2社の業績を含めています。

BtoB事業では、新規会員サポートの充実や株式会社デファクトスタンダードとのシナジーにより会員数は前年同期比で増加しました。また、市場全体の相場は軟調に推移しているものの、会員店における在庫の換金需要が高まった影響により、出品点数及び成約点数が増加し、取扱高は前年同期比で増加しました。

C向け事業では、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社を連結子会社化したことにより取扱高が拡大した一方で、一時的なインバウンド需要の低下により一部高額商品の取引が減少しました。

		2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
BtoB事業	取扱高 (百万円)	37,754	+15.4%
	出品点数 (点)	914,490	+18.4%
	成約点数 (点)	611,338	+15.5%
	会員数 (会員)	5,590	+20.5%
C向け事業	取扱高 (百万円)	12,683	+44.9%

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,598,108千円（前年同期比37.0%増）、営業利益は4,382,737千円（前年同期比1.4%増）となりました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	27,598,108千円	+37.0%
営業利益	4,382,737千円	+1.4%

(モビリティ&エネルギーセグメント)

当セグメントは、オートモビル事業及びモーターサイクル事業で構成されています。

①オートモビル事業

オートモビル事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等を展開しています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比8.5%減の329万台、中古車の登録台数（※7）は、同0.9%増の490万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同8.8%減の551万台、成約台数（※8）は、同1.1%増の394万台となりました。

中古車需要が引き続き高いことに加え、カスタマーサクセスの強化や円安の影響も相まって、主に落札代行サービスを中心に1会員当たりの落札台数が増加し、前年同期比で取扱高が増加しました。

また、中古車情報誌認定検査の需要も引き続き高く、検査台数は前年同期比で増加しました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高 (百万円)	379,355	+13.3%
総成約/落札台数 (台)	397,462	+4.6%
会員数 (会員)	15,377	+1.5%
検査台数(※9) (台)	1,026,551	+10.4%

②モーターサイクル事業

モーターサイクル事業は、中古バイクオークション(※1)、共有在庫市場(※2)、落札代行サービス(※4)、車両検査サービス(※5)、レンタルサービス及び個人向けサブスクリプションサービスを展開しています。

輸出業者会員のオークション落札台数が引き続き好調であることに加え、平均成約単価が上昇したことにより、取扱高は前年同期比で増加しました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高 (百万円)	7,950	+19.7%
総成約/落札台数 (台)	22,274	+12.0%
会員数 (会員)	2,604	△1.6%

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,881,083千円(前年同期比8.8%増)、営業利益は2,781,087千円(前年同期比18.7%増)となりました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	10,881,083千円	+8.8%
営業利益	2,781,087千円	+18.7%

- (※1) 中古車・中古バイクオークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車・中古バイクオークションのことです。
- (※2) 共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車・中古バイクの店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。
- (※3) ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。
- (※4) 落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車・中古バイクの落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。
- (※5) 車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。
- (※6) 一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より
- (※7) 一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より
- (※8) 2024年ユーストカー総合版+輸出相場版より
- (※9) 中古自動車及び中古バイク検査台数の合算値です。

(その他)

当事業は、花きのオークション、サーキュラーコマース事業及び海外事業等で構成されています。

当第3四半期連結累計期間の売上高(セグメント間の内部売上高を含む。)は2,212,431千円(前年同期比4.7%減)、営業損失は312,306千円(前年同期は営業損失252,523千円)となりました。

	2024年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	2,212,431千円	△4.7%
営業損失(△)	△312,306千円	—

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6,773,491千円増加し、44,437,642千円となりました。これは主に、オークション貸勘定が2,283,761千円、棚卸資産が1,834,443千円、投資その他の資産が1,533,705千円、のれんが1,208,601千円、その他の無形固定資産が777,442千円、その他の流動資産が643,317千円増加したものの、現金及び預金が2,295,989千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,969,091千円増加し、19,322,249千円となりました。これは主に、オークション借勘定が3,573,849千円、その他の流動負債が929,310千円、その他の固定負債が226,948千円増加したものの、未払法人税等が674,422千円、株式給付引当金が125,036千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,804,399千円増加し、25,115,393千円となりました。これは主に、利益剰余金が2,287,540千円、資本剰余金が290,328千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年8月8日に公表している業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,572,910	17,276,920
受取手形、売掛金及び契約資産	1,165,240	1,664,000
棚卸資産	3,024,493	4,858,936
オークション貸勘定	3,892,813	6,176,574
その他	3,345,514	3,988,831
貸倒引当金	△47,858	△76,620
流動資産合計	30,953,112	33,888,643
固定資産		
有形固定資産	1,601,433	1,919,643
無形固定資産		
のれん	430,491	1,639,093
その他	928,494	1,705,937
無形固定資産合計	1,358,985	3,345,030
投資その他の資産	3,750,619	5,284,325
固定資産合計	6,711,038	10,548,999
資産合計	37,664,151	44,437,642

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	917,276	899,242
オークション借勘定	7,631,569	11,205,419
未払法人税等	1,563,174	888,752
その他の引当金	296,274	320,867
その他	1,710,881	2,640,191
流動負債合計	12,119,177	15,954,472
固定負債		
退職給付に係る負債	1,884,548	1,899,509
株式給付引当金	283,362	158,325
その他の引当金	-	16,924
その他	1,066,068	1,293,016
固定負債合計	3,233,979	3,367,776
負債合計	15,353,157	19,322,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,807,303	1,807,303
資本剰余金	4,205,415	4,495,744
利益剰余金	17,340,325	19,627,866
自己株式	△1,628,338	△1,596,147
株主資本合計	21,724,705	24,334,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,603	373,815
為替換算調整勘定	155,104	156,986
退職給付に係る調整累計額	23,822	15,542
その他の包括利益累計額合計	436,530	546,344
非支配株主持分	149,758	234,283
純資産合計	22,310,994	25,115,393
負債純資産合計	37,664,151	44,437,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	32,242,084	40,443,269
売上原価	18,503,406	23,511,103
売上総利益	13,738,677	16,932,165
販売費及び一般管理費	8,315,200	11,321,680
営業利益	5,423,477	5,610,485
営業外収益		
受取利息	4,219	4,768
受取配当金	57,389	56,316
持分法による投資利益	-	22,122
為替差益	65,377	-
補助金収入	1,151	11,823
その他	17,505	22,404
営業外収益合計	145,644	117,435
営業外費用		
支払利息	107	1,582
為替差損	-	13,270
持分法による投資損失	17,766	-
支払報酬	25,220	-
固定資産圧縮損	1,062	7,638
その他	3,761	4,654
営業外費用合計	47,919	27,145
経常利益	5,521,202	5,700,775
特別利益		
関係会社清算益	4,539	-
固定資産売却益	117	18,897
特別利益合計	4,657	18,897
特別損失		
関係会社清算損	8,052	-
固定資産除却損	1,805	2,888
その他	1,308	-
特別損失合計	11,166	2,888
税金等調整前四半期純利益	5,514,693	5,716,784
法人税等	1,933,682	2,037,471
四半期純利益	3,581,010	3,679,312
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,829	84,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,512,181	3,594,503

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	3,581,010	3,679,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,619	116,211
為替換算調整勘定	87,727	1,881
退職給付に係る調整額	△15,001	△8,279
その他の包括利益合計	157,345	109,813
四半期包括利益	3,738,356	3,789,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,669,526	3,704,317
非支配株主に係る四半期包括利益	68,829	84,809

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	ライフスタイ ルプロダクツ	モビリティ& エネルギー	計				
売上高							
オークション関連収益	6,953,160	6,680,721	13,633,881	897,119	14,531,000	—	14,531,000
商品販売関連収益	13,082,639	351,106	13,433,745	512,353	13,946,099	—	13,946,099
その他	112,092	2,970,640	3,082,733	682,251	3,764,984	—	3,764,984
顧客との契約から 生じる収益	20,147,892	10,002,468	30,150,360	2,091,724	32,242,084	—	32,242,084
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,147,892	10,002,468	30,150,360	2,091,724	32,242,084	—	32,242,084
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	230,781	230,781	△230,781	—
計	20,147,892	10,002,468	30,150,360	2,322,505	32,472,865	△230,781	32,242,084
セグメント利益又は 損失(△)	4,322,930	2,342,913	6,665,843	△252,523	6,413,320	△989,843	5,423,477

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、花きのオークション、サーキュラーコマース事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△989,843千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	ライフスタイル プロダクツ	モビリティ& エネルギー	計				
売上高							
オークション関連収益	7,967,219	7,138,030	15,105,249	894,602	15,999,852	—	15,999,852
商品販売関連収益	19,529,916	376,211	19,906,127	492,709	20,398,836	—	20,398,836
その他	100,971	3,366,841	3,467,813	576,766	4,044,580	—	4,044,580
顧客との契約から 生じる収益	27,598,108	10,881,083	38,479,191	1,964,078	40,443,269	—	40,443,269
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	27,598,108	10,881,083	38,479,191	1,964,078	40,443,269	—	40,443,269
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	248,352	248,352	△248,352	—
計	27,598,108	10,881,083	38,479,191	2,212,431	40,691,622	△248,352	40,443,269
セグメント利益又は 損失(△)	4,382,737	2,781,087	7,163,824	△312,306	6,851,518	△1,241,033	5,610,485

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、花きのオークション、サーキュラーコマース事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,241,033千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社の全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ライフスタイルプロダクツ」のセグメント資産が4,990百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフスタイルプロダクツ」セグメントにおいて、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社を子会社化したことに伴い、同社を第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は1,344百万円であります。

なお、当該のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首より、当社の事業戦略に適したポートフォリオに組み替えることを目的としてセグメントを変更しております。従来の「デジタルプロダクツ事業」及び「ファッションリセール事業(旧コンシューマープロダクツ事業)」を統合し「ライフスタイルプロダクツセグメント」としました。また、従来の「オートモビル事業」及び「その他」に含まれていた「モーターサイクル事業」を統合し「モビリティ&エネルギーセグメント」としました。

また、従来セグメント共通費用は調整額に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間の期首からの報告セ

グメント変更を契機として、各報告セグメントの事業運営に貢献するコストについては、一定の合理的な基準で配賦することとした方がより効果的な業績評価が可能になると判断し、当該共通費用を各報告セグメントに配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法及び配賦方法により作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	469,984千円	451,315千円
のれんの償却額	89,964 "	135,887 "

(重要な後発事象)

該当事項はありません。